

若手漁業者の発表

「新規就業者から独立へ」

佐渡漁業協同組合 高千支所

本田 秀明

みなさま、こんにちは佐渡漁業協同組合 高千支所所属の本田 秀明と申します。

私は新潟県佐渡市高千で漁業に従事しており、冬は板曳き網漁、夏はサザエ網漁に取り組んでおります。漁師として歩み始めた当初は、高千の土屋さんの船である新宅丸に乗り、2年間板曳き網漁を学んできました。

板曳き網漁は潮の流れや魚の動きを読む力が必要で、思うようにいかないことも多くありましたが、土屋さんをはじめ先輩方のご指導のおかげで、一つずつ経験を積み重ねることができました。

夏にはサザエ網漁に励み、獲れたサザエを市場に出荷して、地域の方々や観光のお客様に喜んでいただけることが、大きなやりがいとなっています。

現在は、船の操縦から出荷に至るまでを1人でできるようになりました。そして、来年8月には独立し、自分の船を持って操業することを

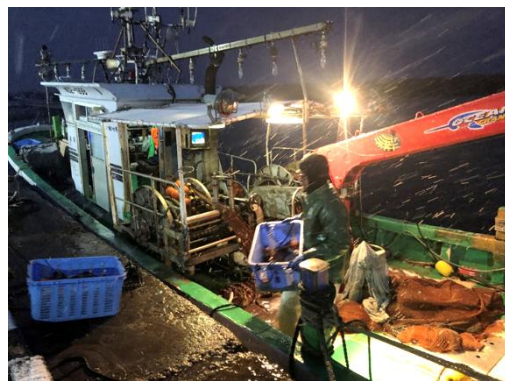
目標にしています。

まずは一人前の漁師として安定した経営を築き、将来的には佐渡の漁業を次の世代につなげる一員として、仲間と力を合わせて取り組んでいきたいと考えております。

本日の大会を通じて、多くの漁業者の皆さまと交流し、学びを持ち帰れることを楽しみにしております。

これまでご指導くださった土屋さんをはじめ高千の漁業者の皆さま、そして家族や関係機関の皆さまに、心より感謝申し上げます。

本日はご清聴ありがとうございました。



研修の様子

「第二の人生」

佐渡漁業協同組合 稲鯨支所 佐和田出張所

菊地 隆

皆様、こんにちは。

私は佐渡漁協稲鯨支所佐和田出張所準組合員の菊地隆と申します。

この度、『経営体育成総合支援事業』を受けて牡蠣養殖者となる事ができました。事業期間は昨年（令和6年）5月から今年（令和7年）3月までの11ヶ月間です。

なぜ私が牡蠣養殖者になろうかと思った理由は、私が嫁いだ家が専業の稲作農家でした。今までは義理の父がメインで農業をしておりましたが義理の父も高齢の為、私は今年の4月に脱サラをして農家を手伝うことにしました。ただ稲作農家は3月から10月の間は仕事がありますが11月から2月の間は残念ながら仕事がありません。そこで目を付けたのが牡蠣養殖です。牡蠣養殖の繁忙期は12月から2月の冬の間で、稲作農家の繁忙期とは重なりません。また牡蠣筏のメンテナンスや牡蠣種の作業等は稲作作業の合間を見てできそうだったので牡蠣養殖者になろうと決心をしました。

研修期間は11ヶ月間と短い期間ではありましたが、里親になって頂いた惣鳳丸の高野さんには本当に親切丁寧に沢山の事を教えて頂きました。研修期間中に苦労をした事はロープの結び方です。作業内容に応じてロープの結び方も違って、なかなか結び方を覚える事ができませんでした。正直現在も全ての結び方をマスターはしていません。また船の操船練習も苦戦しました。海上は日々変化をしており『風の向き』、『風の強さ』、『潮の流れ』等で思ったように船を操縦する事ができませんでした。船の操縦に関しては正直、未だに怖いのです。ただ操縦ができないと水揚げや作業などができないので船を操縦する際は今も緊張しながら教わったことを思い出して慎重に操縦をしております。

研修が今年3月、無事に終了をして独立をしましたが、まだまだ一人前の牡蠣養殖者とはいえません。研修期間中に沢山教わった知識と経験を活かし立派な牡蠣養殖者になれるよう今後も努力したいと思います。最後になりますが里親になって頂きました惣鳳丸の高野さん、そしていつも手伝って頂きました奥様、短い期間ではありましたが、ここまで私を成長させて頂き本当にありがとうございました。高野さんの名前に恥じぬよう今後も頑張っていきたいと思っています。



研修の様子